

がデザインし実践するか

4割が受講され、教育の情報化を推進する大きな力になったと聞いています。

情報インフラの進展に

企業のイノベーション

問題解決の能力を育んでいく必要があります。

えるなどを身に付け、問題解決の能力を育んでいく必要があります。

平成23～25年度にかけて、全国各地の自治体が、教育クラウドなどの災害にも強いデータセンターを活用した大規模な校務支援システム導入を予定しています。

3月には、文部科学省と総務省の下で検討を進めたAPPPLIC（全国地域情報化推進協会）の指導要録と健康診断表電子化の全国標準仕様「教育情報データ連携」を行ったため、しっかりとセキュリティ対策をしていただきたいと思いま

り、成績などセンシティブデータの電子化が加速ルボリシ」等も活用して、具体的な実施手順を定め、暗号化などの実技研修も行うことをお勧めします。

本年が「安全な校務情

報化元年」となることを願っています。

AET）では、全国の学校教員、教育工学者研究者、教育行政や教育産業に関する会員諸氏の協力のもと、全国大会の開催や教育の情報化実践セミナーを通じて、実践知の共有とその普及啓発を積極的に行ってきました。

本年も、教員、研究者企業が三位一体となって、次代を生きる子どもたちを育てる力になるべく、教育実践研究に取り組みたいと思います。

個人にとって重要な能力であることが国際的な力であることが国際的な共通認識となってきた。

今後、わが国が世界と伍していくためには、企業での人材育成は勿論、学校の情報教育においても、生徒たちは、ICTに関する知識・スキルを身に付けるだけではな

いと考えています。報教育を応援していくことで、学校における情報教育を応援していくため、決力を「見える化」する

こと、で、学校における情報教育を応援していくため、決力を「見える化」する

会の指導要録と健康診断表電子化の全国標準仕様「教育情報データ連携」を行ったため、しっかりとセキュリティ対策をしていただきたいと思いま

り、成績などセンシティブデータの電子化が加速ルボリシ」等も活用して、具体的な実施手順を定め、暗号化などの実技研修も行うことをお勧めします。

本年が「安全な校務情

報化元年」となることを願っています。

## ち次代担う若者輩出

学技術振興機構理事長 中村 道治

また、スーパーサイエンスハイスクール（SSSH）では、課題研究による特許出願や新たな化学現象の発見による権威ある米国専門誌への論文掲載等が話題になります。

今年3月には、このよ

うな若者の活躍をさらに近なものとし、盛り上

していくため、新たに第1回科学の甲子園全国大会

が開催されます。日

全日本の科学好きな高校

が、チーム制で科学の

力を競う大会です。

吉国47都道府県の代表校

日本一を目指して参加

します。

## 家庭教育新聞

2012年1月1日(日)

教育委員会から  
産業界から  
多々  
目指し  
課題を  
持つ  
科学  
に羽ば  
輩出する  
施策の  
かりと  
いと思  
います。

学びの変革促す情報化へ

デジタル教科書教材協議会会長 小宮山 宏



昨年は、全国の先生や教育関係者が意見交換、情報共有するためのコミュニティサイト「TEC (Teachers' Education Community)」を立ち上げ、現場の先生方が真剣に生徒たちに向かい、さまざまな取り組みをされています。

デジタル教科書は子どもたちの学力、そして創造力・コミュニケーション力を育むツールであることを知り、共感と共に協議会の活動の重要性を再認識いたしました。

教育のデジタル化を円滑に推進するための民間団体として、2010年7月に発足した「デジタル教科書教材協議会（会員127社）」の活動もうなづいています。

日本統計学会は昨年秋、関連諸機関と協力して「統計検定」を開始しました。幸いにして多くの受験者を得、つながらく合格発表の運びとなりました。

2年目に入り、学びの場としての学校の機能についての変革の必要性を感じながら、次世代が開催されます。日本一を目指して参加します。

「統計検定」は学校では大学入試センター試験にも統計の問題が出題されます。

## 「統計検定」フルラインナップ

日本統計学会理事長 岩崎 学

日本統計学会は昨年秋、関連諸機関と協力して「統計検定」を開始しました。幸いにして多くの受験者を得、つながらく合格発表の運びとなりました。

2年目に入り、学びの場としての学校の機能についての変革の必要性を感じながら、次世代が開催されます。日本一を目指して参加します。

「統計検定」は学校では大学入試センター試験にも統計の問題が出題されます。

そのため、教育現場で取り組んでいく所存です。

日本統計学会は昨年秋、関連諸機関と協力して「統計検定」を開始しました。幸いにして多くの受験者を得、つながらく合格発表の運びとなりました。

「統計検定」は学校では大学入試センター試験にも統計の問題が出題されます。

そのため、教育現場で取り組んでいく所存です。

日本統計学会は昨年秋、関連諸機関と協力して「統計検定」を開始しました。幸いにして多くの受験者を得、つながらく合格発表の運びとなりました。

そのため、教育現場で取り組んでいく所存です。

2012年